

広報

# えびの

2

広報えびの2月号  
2010.February  
No.520  
平成22年2月20日発行



[特集]

## 防犯

[P2 — P5]

〈表紙写真〉2月6日、7日に行われた京町二日市。

広報えびのはホームページでもご覧になれます。  
<http://www.city.ebino.lg.jp/>

[ 特集 ]

# 防犯

次はあなたの家かもしれない—。

「田舎だから大丈夫」、「何もとられる物がないから」、「うちだけは大丈夫」・・・本当にそう言えますか。市内でも空き巣や車上ねらいが発生しています。今号では、防犯について考えます。



## えびの市内での 刑法犯罪の発生状況

皆さんは、家を出る時にかぎをかけますか。平成21年中、えびの市内では、96件の刑法犯罪(窃盗、暴行、詐欺、傷害など)が発生しました。うち、窃盗と器物損壊が69件を占めます。窃盗の中には、家の中などに入って品物を盗む侵入盗、自動車やバイク、自転車などの乗物を盗む乗物盗、車の中の品物を盗む車上ねらい、置き引きや万引きなどがあります。平成21年中は、侵入盗が10件、乗物盗が8件、車上ねらいが14件、窃盗その他が31件、器物損壊が6件発生しています。中でも車上ねらいが

### 運が悪いのではなく 犯人が狙う理由がある

では、犯人が狙う理由は何でしょうか。運が悪かったの

多発しています。車上ねらいの大口は、かぎがかかっても窓ガラスを割ったり、ドアをこじあけたりして金品を盗みます。犯人にとってかぎをかけているかどうかはあまり関係ないようです。

侵入盗には、空き巣や忍び込みなどがあります。忍び込みは、夜、住人が寝ている間に忍び込み、金品を盗むというものです。住人が物音に気づいて犯人と遭遇してしまったり、金品だけではなく、命や身体までもが危険にさらされてしまいます。

でしょうか。決してそうではありません。犯人がそこに狙いを決めた理由があるはずなのです。

「田舎だから大丈夫」、「うちは何もとられる物はないから」。よくこのような話を耳にします。仮に何もとられなくても、まったく知らない犯人が、家の上がり込み、家中を物色するということを考えると、「何もとられる物はないから」などとは言ってられないはず。結果的に何もとられなくても「こわくて眠れない」など、精神的なショックも受けてしまいます。

また、「近所ではそういうことをする人はいない」と思っている人も、交通機関の発達などにより、犯人も広範囲

### 犯罪被害を防ぐために 私たちがすべきこと

では、このような犯罪の被害にあわないためには、どうすればよいのでしょうか。えびの警察署の平川実生活安全係長はこう話します。「犯人は、少しでも早く、安全に、楽な方法で家に侵入しようとしています。ですから、かぎがしっかりかけられている家など、侵入に時間がかかる家は避けることが多いです。まずはかぎかけの徹底が

重要です」と話します。犯人の立場になってみてください。もしあなたが犯人だった場合、自分の家に、どこから、そしていつ侵入しますか。「かぎがかかっている勝利口から、ごみを出している時に侵入」、「トイレの窓から、子どもの送迎に出ている時に侵入」など、犯人の立場から考えてみると、あなたの家の弱点が見えてくるかもしれません。

次ページでは、平成21年中の犯罪発生マップ(窃盗犯罪、器物損壊のみ)とともに、まず私たちがすべきこと、できることを掲載しています。マップを見ると、市内全域でさまざまな犯罪が発生していることが分かります。

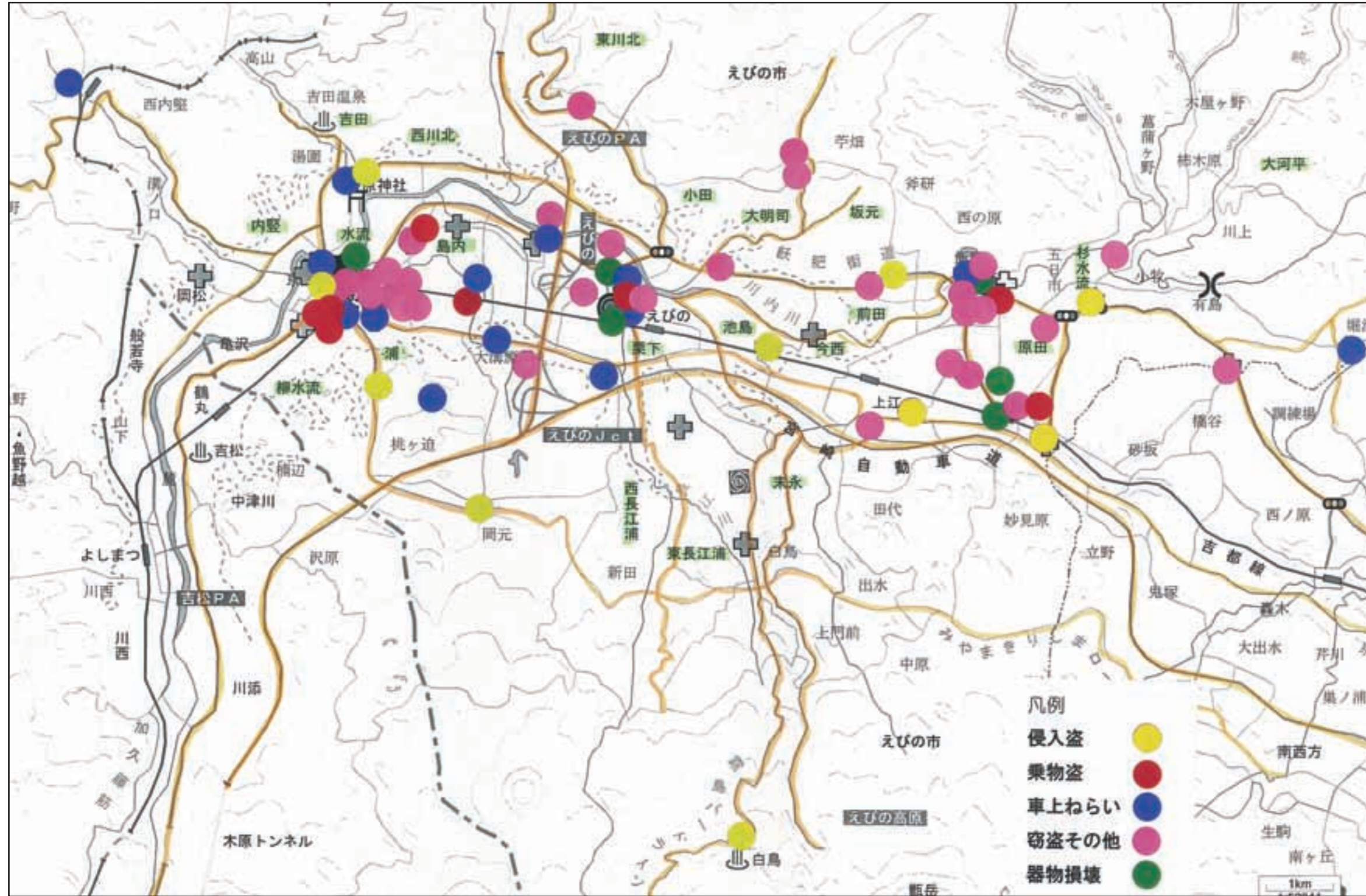
INTERVIEW



えびの警察署生活安全係  
平川実 係長

### 「まずはかぎかけの徹底を」

平成21年中に、えびの市内では96件の刑法犯罪が発生しました。全体的には減少傾向にありますが、車上ねらいが多発しています。まずは、家、車、自転車など、かぎかけの徹底をお願いしたいですね。また、かぎをかけていても、車上ねらいは、窓ガラスを割ったり、ドアをこじ開けたりして品物を狙う場合があります。これは、車の中に犯人の狙うものがあるからです。かぎをかけることも大切ですが、合わせて、車の中には、財布や品物を置かないようにしてください。「近所にはそんな悪いことをする人はいない」と思っている方がほとんどだと思います。しかし、交通機関の発達、県境に位置していることから、えびの市は犯罪を犯して逃げやすい場所です。どこからでも犯罪者はやってくるのです。



「田舎だから」といって油断はできない。このような犯罪の被害にあわないために、私たちがすべきこととは何でしょうか。

# こんなに発生している犯罪

左の犯罪発生マップのように、市内全域でさまざまな犯罪が発生しています。

## かぎかけだけではなく 車内には品物を置かない

家でのかぎかけはもちろんのこと、車のかぎかけも徹底しなければなりません。昨年14件発生した車上ねらいは、前年と比較し、4件増加しています。この車上ねらいは、かぎのかかかっていない車はもちろんですが、かぎをかけていても、被害にあう場合もあります。ガラスを割ったり、ドアをこじ開けたりして、車の中に置いてあるバッグや金品などの品物を狙うのです。一番の対策は、かぎをかけることと同時に、車の中には、金品に限らず、品物を

置かないということです。

## 被害にあったら 必ず警察へ通報する

被害にあっても、「もし近所の人だったら、知り合いだったら」と警察に届けずにいると、警察で犯罪発生把握ができません、その地域の警戒が手薄になってしまいます。そしてさらなる犯罪の発生にもつながるおそれがあります。被害にあった場合は、必ずえびの警察署に通報しましょう。

## 安心安全なえびの市は 市民全員で

えびの市から犯罪をなくすためには、「えびの市で犯罪は起こさせない」という皆さんの防犯意識にかかっています。「田舎だから大丈夫」「ちよっとの間だから大丈夫」という考え方は、犯罪者にとっては好都合です。防犯意識を高めるためにも、ちよっとした外出や寝る時など、まずはかぎかけの徹底から始めましょう。

「えびので犯罪は起こさせない」という強い意識を持つことが、安心安全なえびの市につながります。

01

## さらに利用しやすい市役所へ 窓口利用時間を拡大します



市民の皆さんが利用しやすい市役所を目指します。

3月下旬から4月上旬にかけて、転入・転出などの異動が多くなります。そこで市では、市民の皆さんが仕事帰りや休日でも住民異動届などの手続きができるように、市役所本庁の窓口利用時間を拡大します。ただし、今年も試行的な実施ですので、市役所本庁のみの拡大となります。

【利用時間を拡大する期間】  
平成22年3月26日(金)～平成22年4月8日(木)

【拡大する時間】

◎平日 午後5時～午後7時  
◎土曜・日曜日 午前8時30分～午後5時

【期間中の取扱業務】  
市民課 転入、転出、転居印鑑登録、戸籍の届出・証明書の発行(戸籍、住民票、印鑑証明)・住基カードの発行申請・国民年金保険料免除の申請・学生納付特例の申請・国民年金資格取得の届出・年金受給者の住所や年金振込口座の変更・新入学通知作成および発行業務

福祉事務所 子ども手当、乳幼児医療費助成、子ども医療費助成の手続  
健康保険課 国民健康保険、後期高齢者医療の資格取得および喪失の届出  
長寿介護課 介護保険の資格取得および喪失の届出  
税務課 証明書(納税、所得、資産)の発行

※この拡大時間中の各種相談業務(申告、納税等)は利用できませんので、ご注意ください。

■お問い合わせ先  
えびの市役所各担当課 (☎ 0984-35-1111)

02

## 平成22年新春地域・交通安全のつどいを開催 地域・交通安全に向けて団結



がんばろう三唱で団結を固める参加者。

平成22年新春地域・交通安全のつどいが、1月19日、市文化センターで行われました。えびの市高齢者クラブ連合会やえびの市地域婦人連絡協議会など、25団体約170人が参加しました。

つどいではまず、えびの市交通対策協議会長の村岡市長が「死亡事故ゼロが現在も続いています。今年も死亡事故のない1年となるよう、皆様のご協力をよろしくお願いたします。また、地域の安

全は地域で守るんだという意識づけをよろしく願います」とあいさつ。警察署の職員からえびの市内の事件・事故の現況報告の後、青色回転灯装備車(以下青パト)で市内の防犯パトロールを行っている飯野駅前交番連絡協議会の佛山輝男会長が日々の活動を報告しました。佛山会長は、「私たちは、青パトを使つての巡回パトロールのほか、高齢者宅訪問や銀行での振り込め詐欺防止を呼びか

ける運動、かぎかけの推進運動などを行っています。青パトは自分の車、燃料を使っているの、つらい部分もありますが、みんなががんばってくれているのを誇りに感じます。声かけ事案の減少など、大変効果を感じています」と話していました。

最後に、えびの市消防団の遠目塚光治団長に合わせ参加者全員で「がんばろう」を三唱。えびの市の地域・交通安全に向けて団結を固めました。

■お問い合わせ先  
市総務課防災対策係 (内線 313・316)

03

## 第19回人権を考える市民のつどいを開催 部落差別の現実を知って



時折涙を見せながら部落差別の現実を訴える栗原さん。

第19回人権を考える市民のつどいが、1月31日、市文化センターで行われました。これには、市民約400人が訪れました。

今年、フジテレビプロデューサーの栗原美和子さんが、部落差別の現実「太郎が恋をする頃までは・・・」と題して講演を行いました。

被差別部落と呼ばれたところで育つた夫の村崎太郎さん(猿回し師)。栗原さんは村崎さんのこれまでの体験を

もとに小説を出版し、夫婦で部落差別の問題を訴えてきました。しかし、マスコミにはなかなか取り上げてもらえなかったそうです。それでも村崎さんは地道に部落差別問題を含め人権問題に取り組みました。すると村崎さんをテレビ局が取材。放送の中で「あらゆる差別がなくなつてほしい」と語る村崎さんを見て、小説出版を反対していた母も理解を示したそうです。

栗原さんは、「私たち夫婦

は大した力を持っていませんが、二人が力を合わせれば何かが変わると願っています。一刻も早く、日本から部落差別という巨大な怪物がなくなつてほしいと思います。皆さんにしかできない方法で日本人の心を変えていってほしいと思います」と訴えました。

ホール外では、部落解放同盟宮崎県連合会北岡松支部の皆さんが、藍染めの販売を行い、部落解放運動への理解と協力を呼びかけました。

■お問い合わせ先  
市総務課人権啓発室 (内線 350)

04

## 「第5次行政改革大綱」策定のための提案募集 皆さんとともに行政改革を



提案書と投函箱。多くのご提案をお待ちしています。

市では、市民の皆さんから、平成23年度からの行政改革の推進計画書「第5次行政改革大綱(推進期間 平成23年度～平成27年度)」策定のために、ご提案を広く募集します。

「いろいろなことは変えた方がいいのでは」とか、身近なこと、ふと気づいたこと、素朴な疑問など、自由な発想でご提案ください。

【提案公募の期間】平成22年3月23日(火)まで

【募集要領設置場所】市役所

本庁2階ロビー、飯野出張所、真幸出張所、市民図書館、市文化センター、市立病院(市公式ホームページでもダウンロードすることが出来ます。アドレス 〓 <http://www.city.ebino.lg.jp/>)

【応募方法】

①投函箱に投函の場合 〓 募集要領設置場所に置いてある提案書または市公式ホームページから提案書をダウンロードしてご記入のうえ、投函箱に投函してください。

②郵送、ファックス、電子メールで提出する場合 〓 郵送の場合、〒889-4292 えびの市大字栗下1292番地 えびの市役所財政課あてに、ファックスの場合は0984-35-0401に、電子メールの場合は、[zaisai@city.ebino.lg.jp](mailto:zaisai@city.ebino.lg.jp)に送信してください。

【提案の取扱】、結果の公表 〓 いただいたご提案は、大綱策定の貴重なデータ資料とし、提案等に個別の回答は行いませんのでご了承ください。

■お問い合わせ先  
市財政課行政経営係 (内線 381)



◎今月一品  
(野菜たっぷり豆乳スープ)

# えびののののの つまがまん

「えびのうまいもの」  
vol.22

今月紹介するのは、えびの産の野菜をたっぷり使った「豆乳スープ」です。  
豆乳は、大豆を水に浸してすりつぶし、水を加えて煮つめ、かすをこしたもので、牛乳に似た外観と食味があります。また、そのままの豆乳には特有の青臭さがあり飲みづらいため、砂糖などで甘みを加えたものも販売されています。近年、日本では「豆乳鍋」と呼ばれる豆乳を使った料理の人气が高

まっています。だしを加えた豆乳を用いて、野菜、肉、魚介類などを煮て食べます。煮るうちに表面に湯葉ができたり、半分凝固したおぼろ豆腐のようなものができたりし、これらも食べるすることができます。これ以外にも、料理やデザートに牛乳と同じ感覚で利用できます。  
まだまだ寒さの厳しいこの季節。えびの野菜をたっぷり使った豆乳料理で、体の芯から温まりませんか。



## 子育て鑑賞教室

### 子育て鑑賞教室

日程	平成22年3月9日(火)・10日(水)
時間	午後1時~午後3時 午後6時~午後8時
会場	市文化センター(※入場無料)
内容	劇団飛行船マスクブレイミュージカル「アルプスの少女ハイジ」



### レシピ

#### 【材料(4人分)】

ジャガイモ	80g
ニンジン	40g
タマネギ	60g
キャベツ	100g
シメジ	40g
ブロッコリー	40g
ハム	20g
固形コンソメ	2個
水	600cc
豆乳	400cc
塩・こしょう	少々

#### 【作り方】

- ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、キャベツ、ハムは1cm角に切る。シメジは食べやすい大きさに切る。ブロッコリーは小房に分けて縦半分に切る。
- 鍋に水と固形コンソメ、ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、シメジ、キャベツを入れて火にかけ、煮立ったら弱火にして、10分煮る。ブロッコリー、ハムを加えて3分ほど煮て、豆乳を入れて塩・こしょうで味を調える。



えびの市食生活改善推進員  
一三三宮子さん

recipe



知事受賞の喜びを村岡市長に伝える大木場さん（右）。

# 大木場 富士夫さん

## だれもが「おいしい」と思う米を作っていきたい

Fuji Okubo

おおこば・ふじお / 55歳 / 南原田区 / 自営業 / 米を約3畝、ソバを1畝作付け。良質・良食味コンクールで、その部門の最高賞である優等賞（知事賞）を受賞。

「正直、私の米が知事賞をいただけるなんて思っていませんでした。とてもうれいす」と話すのは、平成22年2月3日に行われた平成21年度宮崎県農産園芸特産物総合表彰式で、「良質・良食味コンクール（普通期水稲の部）」で、優等賞（知事賞）と

特別賞として農林水産省九州農政局長賞に輝いた大木場富士夫さん（南原田区）です。同コンクールの普通期水稲の部には、県内から64点が出展され、食味や玄米タンパク質含量などを審査。今回の受賞は、大木場さんの米が品質、食味ともに優れていると高く

評価されたものです。大木場さんは、約3畝のほ場にえびの産ヒノヒカリを作付けています。20年ほど前に父から農業を受け継いだ大木場さん。「父が約40年かけて土づくりをしてきました。今年も私がおの思いを引き継ぎ、毎年、土壌診断の結果に基づ

き施肥を行うなど、特に土づくりを力を入れていす」と話します。大木場さんの作る米は、近所でも「おいしい」と評判。土づくりや陣川のきれいな水など、環境にも恵まれて、今年には特においしい米ができたと感じていたそうです。

「米づくりは、気象条件に左右されるので何年やってもよく分からないことがありますが、知事受賞を励みに、だれが食べても『おいしい』と言ってもらえるような米を作っていきたいです」と、大木場さんはこれからの米づくりに意欲を燃やします。

# がんばる！自治会

## 向こう三軒両隣の精神で

（中内堅自治公民館）

中内堅地区は、今、着々と土地基盤整備が進んでいます。こうした土地基盤整備事業によって、中内堅地区の環境も大きく様変わりし、自治公民館活動は新たな絆が芽生え、地区民総ぐるみで創意工夫しながら、楽しく活動に取り組んでいます。まず、事故にあわない、事故を起こさないために行う交通教室、治療より予防を重視した食事、健康、医療に関する

教室などを行っています。みんなで多くの知識を共有することが、健康で明るい中内堅地区につながると思っています。長年続いていた「どんど焼き」もいったん途切れてしまいましたが、伝統行事であるとしてもいいのかという地区民の後押し、地区民の総力によって、今年、どんど焼きが復活しました。「無病息災、家内安全」はだれもが願うもの。これからも伝統行事を大切に守っていこうと思います。私たちが一番望むのは「安心の住環境」だと思います。これからの地域福祉が大きな課題です。お互いを支え合い、助け合う「向こう三軒両隣り」の精神をどう構築していくのか。自治公民館が取り組むべき課題は、地区民総力で乗り越えていきたいと思います。



いったんは途切れてしまいましたが、地区民総力で復活したどんど焼き。



中内堅自治公民館長 福元幸子さん

◎自公連だより

※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称。



## ジオパーク発掘調査隊

その5

今月は、宮崎県高原町から、「高千穂峰」についてご紹介いたします。

### 高千穂峰

高千穂峰の山群は、一つの山として扱われることが多いのですが、火山学的には東から二子石、古高千穂、高千穂峰、御鉢の四つの成層火山によって構成されているとされています。

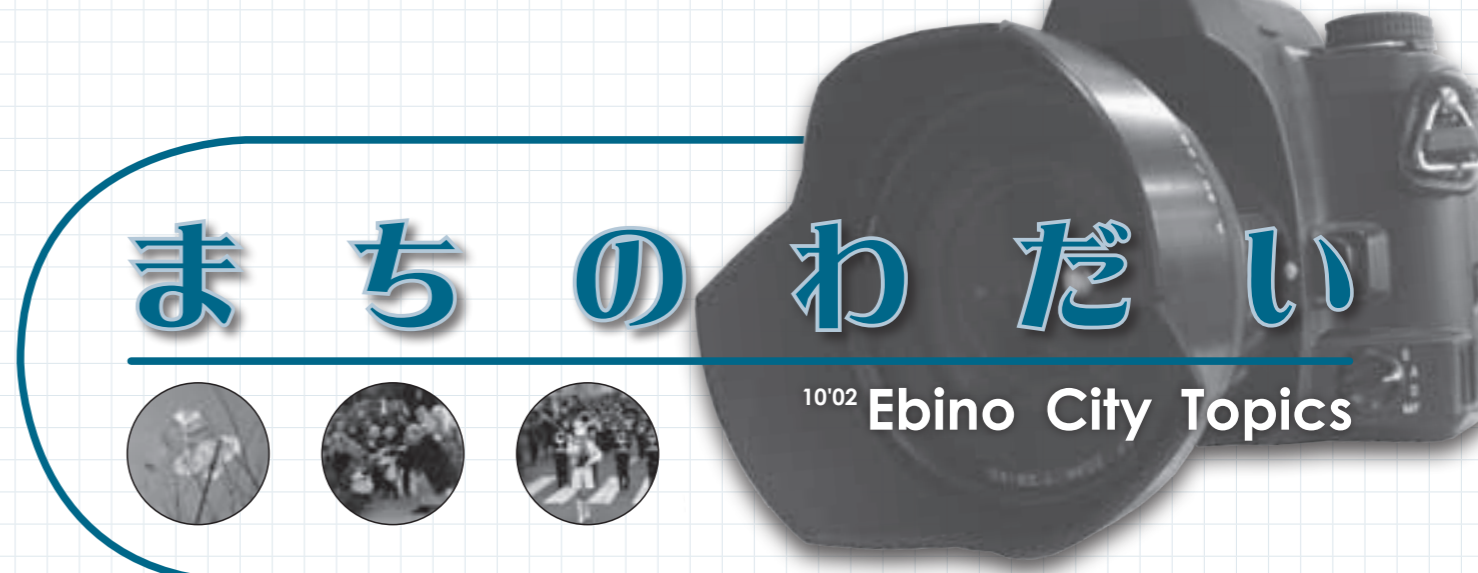
「天の逆鉾」のあるピークが高千穂峰火山で、今から5,000年くらい前に形成されたと考えられています。

とがった山頂部は溶岩ドームでできており、火口

はその溶岩に埋め立てられて見ることができません。高原町は、古くから「神話の里」として知られた町であり、神話を語らずに高原町を話すことはできません。霧島には、最高峰韓国岳をはじめとして、諸峰があります。中でも高千穂峰は天孫降臨伝説の山であり、山岳信仰の中心峰でもあります。山頂には「天の逆鉾」という剣があり、鉾を逆さにしたような形で、二ニギノミコトが降臨したときに突き立てたと、日本最古の書物である古事記の中で語られています。



高千穂峰山頂にある「天の逆鉾」。



還暦祝って母校に恩返し



母校に記念品を贈る加久藤小・中学校卒業生の皆さん。

加久藤小学校・中学校の卒業生（昭和37年3月小学校卒業、昭和40年3月中学校卒業）が、1月29日、母校に記念品を贈りました。これは、還暦を迎えた皆さんが、母校に恩返しをしたいと贈ったものです。小学校には草刈り機とプロアーが、中学校には一眼レフデジタルカメラとビデオカメラが贈られました。

記念品を受け取った加久藤小学校の外村正人校長は、「夏は毎日のように草刈りをしてるのでとても助かります。このように皆さんに支えられ、とても頼もしく思います」と話していました。

ヘルスサポーター増加中



健康に役立つ調理法などを学ぶ参加者。

ヘルスサポーターの養成講座が、1月29日、市文化センターで行われました。ヘルスサポーターとは、食生活改善推進員などから教わったことを、自分で実践しながら、周りの人にも広め、健康に導いていく人たちのことです。

この日は、市民20人が参加。健康に関する講義や調理実習、運動教室などが行われました。調理実習では、食生活改善推進員の手ほどきを受けて豆腐ハンバーグやごま辛し和えなどに挑戦。参加者は、調理の工夫次第で、使う油の量や素材の脂肪を減らすことができるということを学んでいました。

市内各地で餅勤進現る



家の中で踊りながら厄を払う餅勤進。

餅勤進が、1月14日、市内各地で行われました。餅勤進は、厄年の男女がさまざまな衣装や化粧でふん装して厄を払う行事として、毎年この日に行われるえびの市の伝統行事です。

餅勤進は、にぎやかな音楽に合わせて、友人や知人宅を回り、家の中で踊りながら厄を払います。帰りには厄よけのお札と、「厄を払う」という意味から、ほうきなどを置いて次の家を回ります。回った家の厄も払うため、どの家庭でも焼酎などを振る舞って歓迎します。この日は遅くまでにぎやかな音楽が聞こえていました。

野生動物の生態知って



ツシマヤマネコは国の天然記念物に指定されています。

ツシマヤマネコ展が、3月22日まで、えびのエコミュージアムセンターで行われています。これは、絶滅の危機にある生物について関心を深め、人間と野生動物の関係について考えてもらおうと行われているものです。

ツシマヤマネコは、長崎県対馬だけに生息する野生のネコ。生息環境の悪化や交通事故などで生息数が減少し、絶滅の危機に瀕しています。

今回の展示では、ツシマヤマネコの生態や現状、その保護活動などを、写真やパネルなど約40点で紹介。ぜひ、ご覧ください。

親子手作りの凧空高く



天候にも恵まれ空高く舞上がる手作りの凧。

新春凧上げ大会が、1月17日、グリーンパークえびので行われました。これは、凧づくりを通して親子のふれあいや絆を深めながら子どもたちの思い出をつくってもらおうと、真幸地区自治公民館連絡協議会が行ったもので、市内の児童やその保護者など、約100人が参加しました。

この日上げた凧は、事前に親子協力して作ったもので、今年の干支である寅や好きなキャラクターなどが絡まったり、木に凧を引つける糸が絡まったり、木に凧を引つけることもありましたが、どの凧も空高く上がっていました。

京町二日市に23万人



多くの人を訪れた京町二日市。

京町二日市が、2月6日、7日の2日間、京町温泉駅前通周辺で行われました。これは、南九州最大の買い物市として、大正9年から始まったものです。2日間で、約23万人の人が訪れました。

歩行者天国となった約2kmの通りには、食品や植木、刃物など約400店が軒を連ね、店員は、「いらっしゃい、いらっしゃい」と、威勢のいい声で客を呼び込んでいました。都城市から列車を利用して家族と訪れた方は、「写真で見ただけではあつたけど来るのは初めて。こんなに人が多いとは思いませんでした」と話していました。

54チームえびのをスタート



多くの声援を受けてえびのをスタートした選手たち。

第64回南九州駅伝競走大会が、2月7日に行われました。これには、高校や大学、実業団など、54チームが出場。真幸地区体育館前をスタートし、都城市役所玄関前にゴールする7区間（61・25km）で争われました。

村岡市長のピストルを合図に、選手たちは一斉にスタート。スタート直後の京町地区は、ちょうど京町二日市開催中で、多くの人買い物を止めて、旗を振りながら、走っていく選手たちに声援を送っていました。また、市内のいたるところで、市民の皆さんが選手たちを応援していました。

information

# お知らせ コーナー

## ・お知らせ・

### 3月31日までに麻しん風しん 予防接種を受けましょう

平成20年4月の予防接種法改正により、中学1年生と高校3年生相当年齢の方の2回目の麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)接種が、平成24年までの5年間、定期接種に追加されました。まだ、接種していない方は、平成22年3月31日までに接種しましょう。

#### 【対象】

◎第3期麻しん風しん予防接種＝中学1年生相当年齢の方(平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれの方)

◎第4期麻しん風しん予防接種＝高校3年生相当年齢の方(平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれの方)

また、第2期麻しん風しん予防接種対象者である就学前のお子さん(平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの方)も、平成22年3月31日まで接種できますので、お子さんに接種させていない方は、接種させましょう。

※接種できる医療機関など、詳しいことは、下記にお問い合わせください。

※中学1年生相当年齢と高校3年生相当年齢の対象の方には、昨年4月に通知(問診票同封)していますが、紛失された方は再発行します。市健康保険課市民健康係までお越しください。

☎ 市健康保険課市民健康係  
(内線281)

### 宮崎県職員・警察官の 就職ガイダンスを開催します

宮崎県人事委員会事務局では、宮崎県職員・警察官就職ガイダンスを開催します。

【開催日時】平成22年3月7日(日)午後1時30分～

【会場】JA・AZMホール

【対象】宮崎県職員・警察官採用試験の受験を考えている方

【内容】採用試験の紹介、若手職員の体験談、質問タイム、各コーナーに分かれての個別質問

【申込方法】①氏名(ふりがな)、②希望する職種、③連絡先(電話番号)、④参加に際しての要望事項(車イス席希望など)、⑤業務や受験等に関して質問してみたいことを明記して、はがきか電子メールで人事委員会事務局に申し込んでください(①②③は必ず記入してください)。

【申込期限】平成22年3月1日(月)

【定員】500人(※定員になり次第締め切ります)

【申込先】〒880-0805 宮崎市橘通東1-9-10 宮崎県人事委員会事務局総務課  
メールアドレス=jinji-somu@pref.miyazaki.lg.jp

☎ 宮崎県人事委員会事務局総務課 ☎ 0985-26-7259

## ・募集・

### 豊かな森林づくり植樹祭の 参加者を募集します

えびの市みどり推進会議では、毎年、植樹祭を通して「みどり」への関心を深めるとともに、地球環境への理解を深めることを目的として、植樹活動を行っています。今年も大河平地

区の市有林に植栽を行います。参加を希望される方は事前に申込みをお願いします。

【募集人員】100人(先着順)  
【植樹祭開催日時】平成22年3月14日(日)午前9時～午後2時

【集合場所】市役所本庁駐車場(受付:午前8時30分～午前9時) ※マイクロバスで現地に移動します。

【申込方法】平成22年3月5日(金)までに、市畜産農林課林務係に電話で申し込んでください。

【植樹内容】大河平地区(小ヶ倉市有林)にイロハモミジ等約1,500本を植樹します。

※当日は、作業のできる服装、軍手、雨具等を準備してください。山クワ、昼食は主催者で準備します。

☎ 市畜産農林課林務係  
(内線229)

### 「空き家バンク」への 登録空き家を募集しています

市では、空き家の有効活用を通じて、えびの市民との交流拡大および定住促進による地域の活性化を図るため、市内にある賃貸や販売が可能な物件の所有者または管理者からの「空き家バンク」への登録を募集しています。空き家バンクでは、登録いただいた物件の情報公開と情報提供を積極的に行います。

【空き家バンクへの登録】市企画課振興係までお気軽にご連絡ください。空き家等の情報はホームページ等(アドレス=http://www.ebikyan.jp/)で提供します。また、利用希望者からの問い合わせがありましたら、所有者の方へご連絡します。

☎ 市企画課振興係

(内線323・325)

### 青年国際交流事業に 参加しませんか

内閣府では、平成22年度の青年国際交流事業の参加者を募集しています。

【募集事業】①国際青年育成交流(9月)②日本・中国青年親善交流(9月)③日本・韓国青年親善交流④青年社会活動コアリーダー育成プログラム(10月)⑤世界青年の船(平成23年1月～3月)⑥東南アジア青年の船(10月～12月)

【対象】平成22年4月1日現在で18歳～30歳の方(ただし、④は23歳～40歳の方)で日本国籍を持つ方

【募集期限】平成22年3月26日(金)必着

【申込書配布場所】宮崎県文化・国際課、各市町村青少年担当課、内閣府ホームページ(アドレス=http://www.cao.go.jp/koryu/)からもダウンロードできます。

【申込先】〒880-8501 宮崎

県文化・国際課

☎ 宮崎県文化・国際課

☎ 0985-26-7004

## ・相談・

### 公正証書作成に関する 無料相談を行います

えびの市社会福祉協議会では、都城公証人による、相続・遺言・任意後見契約・尊厳死宣言・賃貸借契約・金銭貸借契約・離婚給付契約等の公正証書作成に関する無料相談を行います。

【相談日時】平成22年3月25日(木)午後1時30分～午後4時

【会場】えびの市社会福祉協議会 ※事前に下記に電話で予約してください。

☎ えびの市社会福祉協議会  
☎ 0984-35-2800

## ・イベント・

### 2010アートフェスティバル 「外国人が見た宮崎」作品展

市国際交流センターでは、宮崎県在住の外国人による、宮崎

の印象や宮崎への思いを形にした作品展を開催します。写真、書道、絵画など、素晴らしい作品がそろっています。ぜひ、お越しください。

【開催期間】平成22年2月27日(土)～3月8日(月)午前8時30分～午後6時

【会場】市国際交流センターロビー(入場無料)

☎ 市国際交流センター  
☎ 0984-35-3211

### えびの市の春の風物詩 飯野植木市開催

えびの市の春の風物詩「飯野植木市」が下記のとおり行われます。2日間、歩行者天国となった通りには、植木や花など多くの店が並びます。

【開催日】平成22年3月6日(土)、3月7日(日)

【会場】飯野町区商店街  
【歩行者天国】6日=午前10時～午後5時、7日=午前9時～午後5時

☎ えびの市商工会  
☎ 0984-35-1544

## 119 だより

### 体調管理と火災予防の徹底を

大寒は過ぎましたが、まだまだ厳しい寒さが続くと思われれます。体調を崩しやすい気候なので健康管理に十分気をつけてください。

また、新型インフルエンザが依然として流行しています。感染の確立を下げるために、こまめな手洗いとうがいを心がけましょう。

2月、3月は、一年中で最も火災発生の多い月です。暖房器具の取扱い、ガスの元栓、火の元には十分注意してください。

1月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	2件	年計	2件
	救急	61件	年計	61件

■えびの消防署 ☎ 0984-33-6119

## 110 だより

### 高齢者の交通事故防止について

宮崎県内では、平成21年中、交通事故で73人の方が亡くなり、その内32人(43.8%)が高齢者の死亡事故でした。

今年も1月中に4人の方が交通事故で亡くなっていますが、すべて高齢者の死亡事故で、内2人は夜間、道路横断中に車にはねられた事故です。

事故原因としては、  
\*運転者側=脇見、ライトが下向き、安全な速度で走行していない

\*歩行者側=車両の直前横断、黒っぽい服装(反射材なし)などがあげられます。

市民の皆さんも以上の点に十分注意して、高齢者の交通事故防止に努めましょう。

1月の交通事故 発生状況	人身	11件	年計	11件
	物件	24件	年計	24件

■えびの警察署 ☎ 0984-33-0110



## 心の一首一句

短歌

ドンパン節誕生会で舞いし人  
姿見かけぬ体調いかに

栗下区 長谷タツエ

共につどう誕生会で元気にドンパン節を踊られた方を最近会合で見掛  
けなくなり安否を気づかう作者のやさしい心の溢れた詠である。  
人は人の愛を受けて生き、生きていくという事は愛されているという  
ことである。  
命の炎を燃やして誠実に生きたいものである。 (評 竹下妙子)

俳句

どの日にも願ふ幸せ初暦

京町区 押領司勝

届いた新年の暦をめくりながら、その日その日がすべて幸せの日々で  
あるように心から願わずにはいられない。 (自註)

詩

暁

暁に

命を思う

上浦区 玉村キクエ

暁に

命を思う

草の命を

暁に

命を思う

鳥の命を

そして暁に

人の命を思う

連続とつながっている

朝焼けの

前にたたずみ

人の命を思う

あなたもつくってみませんか。

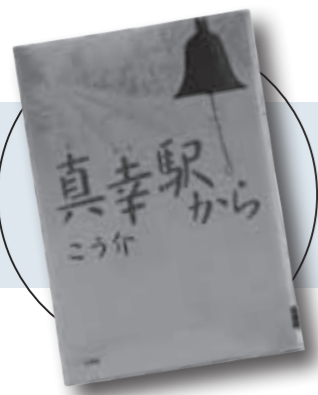
(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

(俳句) 阿野文雄さん ☎ 0984 - 37 - 1653

(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで。

ありますか、好きだと言える一冊が。

## おすすめの 一冊



『真幸駅から』

こう介 / 著  
(文芸社)

人の老女が思わぬ事件に巻き込まれ、  
重体となる。連れ合いの男は、彼女  
が守るように持っていたという真幸駅の切  
符から、50年前の記憶を呼び覚まし、衝  
撃の真実を知るのだった。自分にとって、  
そして愛する人にとっての「真の幸せ」と  
は何なのかを問う感動の純愛小説です。え  
びの市在住の作家、こう介さんが書かれた  
本です。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

### Editor's

◎編集後記

市 町村広報活動の向上と促進を図るために毎年行われて  
いる宮崎県広報コンクール。先日、平成 22 年宮崎県  
広報コンクールの審査結果の通知がありました。平成 21 年  
1 月から 12 月までに発行したものが対象で、広報えびのは、  
組写真の部で特選 (12 月号 P 16 - P 17)、広報紙の部 (市  
部) で入選 (12 月号)、一枚写真の部で努力賞 (3 月号表紙)  
をいただきました。特選を受賞した組写真は全国広報コン  
クールに推薦されます。これも、家族や職場、市民の皆さ  
んのご協力があったからこそです。この結果に満足するこ  
となく、よりよい広報えびのを目指していきます。(楠元)

### ◎えびの市の人口

男性 / 10,179 人 (+3 人) 転入 / 53 人  
女性 / 11,513 人 (+6 人) 転出 / 30 人  
合計 / 21,692 人 (+9 人) 出生 / 19 人

### ◎えびの市の世帯数

9,152 世帯 (+13 世帯) 死亡 / 33 人

(平成 22 年 2 月 1 日現在)

今月の  
納税

固定資産税 第 4 期  
国民健康保険税 第 8 期  
3 月 1 日までに納めましょう。



## いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

### 朝ごはんを食べていますか?

■藤嶋栄養士 (健康保険課)

1 日のはじめに食べる朝ごはんは、子どもだけで  
はなく、大人にとっても大切な食事です。朝ご  
はんをしっかり食べると体が温まり、細胞の活動も活  
発になるので、風邪への抵抗力も高まります。1 日を  
元気に活動するためにも欠かせないものです。

しかし、「時間がない、朝起きられない」、「作るの  
がめんどろ」、「朝ごはんを食べる習慣がない」、「食  
べる気がしない、お腹がすいていない」などの理由から、  
朝ごはんを食べない人が増えています。

朝食を食べる習慣がある人は、朝になると胃が収縮  
して消化する準備をしますが、普段から食べる習  
慣がない人は、朝起きて胃の中が空っぽでも空腹感  
を感じない場合があります。食欲がないからといって食  
べなければ、さらに悪循環になります。そんな方は、  
おにぎりなど、食べやすいものを少量でもとることか  
らはじめてみましょう。また、朝は忙しくて準備がで  
きない方というのは、前日の夜に何を食べるか決めてお  
き、準備しておくとも時間短縮になります。例えば、お  
にぎりを作り冷蔵または冷凍しておけば、朝はレンジ

で温めるだけで食べられます。夕食を用意する際、野  
菜を多めに切って取り分けておいたり、汁物を多く  
作って朝食にまわしたりする方法もあります。季節の  
野菜を一口大に切り、少量の塩や市販の漬物の素と  
ともにビニール袋に入れてもみ、冷蔵庫に入れておけば、  
朝にはおいしい一夜漬けが食べられます。

1 日元気に過ごすため、家族みんなで食べる習慣を  
つけてみませんか。

《朝ごはんをおいしくしっかり食べるためのポイント》

- ① 夕食は決まった時間に食べる (夕食はなるべく消化  
のよいものにし、就寝 2~3 時間前までに食べ終わる  
ように心がけましょう)。
- ② 夕食後、寝る前にお菓子などの夜食を食べない。
- ③ 早寝・早起きで生活リズムを整える (夜更かししな  
いで早く寝ましょう。また、胃は体よりも 30 分ほど  
遅く目覚めるとされているので、朝食を食べる 30 分  
ほど前には起きるように心がけましょう)。
- ④ 昼間は元気に体を動かす。

参考資料: 「こどもの栄養」(子ども未来財団)  
「たのしくたべようニュース」(少年写真新聞)

### 男女共同参画セミナーを開催します

えびの市男女共同参画推進条例は、「すべての人が、  
その人権を尊重され、性別にかかわらず、その個性  
と能力を十分に発揮できる社会は、私たちの願いであ  
る。そして、その社会こそが、自らの意思によって社  
会のあらゆる分野の活動に参画し、喜びと責任を分か  
ち合う男女共同参画社会である」と、前文でうたって  
います。では、男女共同参画社会の実現は具体的には  
どうのことなのでしょう。今回は日々の生活の中  
での男女共同参画をより具体的に理解していただくた  
めのセミナーを計画しました。ぜひご参加ください。

～仕事も家庭もハッピー生活に～

#### 男女共同参画セミナー開催のお知らせ

◎第 1 回 = 「介護する側、される側」～豊かな老後  
を迎えるために～(講師: シャンソン歌手 小城久美子氏)  
【開催日時】平成 22 年 3 月 2 日 (火) の午後 7 時～  
午後 9 時 (会場: 市文化センター 2 階視聴覚室)

### 男女共同参画だより

◎第 2 回 = 「人生の寄り道講座」～男と女の心理学～  
(講師: みやざき中央新聞編集長 水谷謹人氏)

【開催日時】平成 22 年 3 月 10 日 (水) の午後 7 時～  
午後 9 時 (会場: 市国際交流センター 研修室)

◎第 3 回 = 「市民の力を地域の力に」～男女共同参画  
と市民協働～ (パネラー: えびの市自治公民館連絡協  
議会・NPO えびの、コーディネーター: オフィスビ  
ュー たもつゆかり氏)

【開催日時】平成 22 年 3 月 24 日 (水) の午後 6 時 30  
分～午後 8 時 30 分 (会場: 市国際交流センター 研修室)

●参加費は無料です。

●各講座の定員は 40 人です。

●参加希望者は市企画課振興係へ事前に申し込みをお  
願います。☎ 0984 - 35 - 1111 (内線 325)

●無料託児所を開設します。

～たくさんのご参加お待ちしております～

# ふるさと散歩

Furusato-sanpo

136

## 歌碑と白鳥温泉



白鳥温泉下湯にある与謝野寛と与謝野晶子の歌碑。

今回は、白鳥温泉に所縁のある西郷隆盛と与謝野寛、与謝野晶子についてご紹介します。この三人の歌碑が白鳥温泉の上湯・下湯に建立されています。

上湯の入り口には、入湯好きの西郷隆盛が、明治七年七月から三か月間えびのに滞在した時の情景の歌碑があります。八月一日に篠原国幹に送った手紙にも、「実にこの白鳥は霊境にして、氣候秋の半ばをすぎ候位に御座候。今暫くは入湯のつもりに御座候。最早世間広く相成り、囲を解かれ、多幸の仕合わせに御座候」と書いています。入湯中は、飯野郷の若い青年松田実英(後の初代飯野村長)や有力者たちを呼んで、談笑した

とも伝えられています。

時には辺りの山野を獵犬を引いて狩猟を楽しんだり、民家に仮宿したりしています。また、西川北の獵師原田嘉次郎の茅屋の土間に、むしろを敷き、長男の菊次郎(後の京都市長)とともに一夜を過ごしたという逸話もあります。

白鳥温泉から眺める加久藤盆地は、早くも稲が黄色つき、秋もようやく深くなるうとしている十月半ばに、西郷隆盛は白鳥温泉を離れています。上湯にある歌碑の詩こそ、白鳥温泉のわが郷土に残された唯一の証です。

与謝野寛は、明治三十三年に「明星」を創刊。妻の晶子は、明治三四年に「みだれ髪」を刊行し、

同年秋に与謝野寛と結婚しています。二人は、昭和四年七月二四日に大浪池やえびの高原、白鳥を訪れています。そして同年一二月に霧島の大自然を歌集にした「霧島の歌」を刊行しています。その中で白鳥を詠んだ句があります。

「霧島の白鳥の山あおぞらを木間に置きてしづくするかな」(与謝野寛)、「霧島の白鳥の山しら雲をつばさとすれど地を捨てぬかな」(与謝野寛)。これは、下湯に歌碑が並んで建立されています。

現在、上湯、下湯ともに改修されて明るくなりました。先人たちも満悦したその地の歌碑と温泉巡りはいかがですか。

(文)市歴史民俗資料館・麦田勝